



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 船橋 誠 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	68,371	0.3	8,607	△4.9	10,774	△6.2	6,658	△10.1
26年3月期第1四半期	68,178	0.6	9,047	△7.7	11,484	△5.6	7,410	△2.4

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 10,537百万円 (△19.9%) 26年3月期第1四半期 13,159百万円 (76.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	82	13	82	10
26年3月期第1四半期	91	38	91	36

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期第1四半期	729,139		619,311		83.2	
26年3月期	728,442		611,933		82.4	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 606,925百万円 26年3月期 600,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
26年3月期	—	—	50	00	—	—	60	00	110	00
27年3月期	—	—								
27年3月期(予想)			50	00	—	—	60	00	110	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	147,000	1.7	15,000	△30.3	19,000	△25.7	12,000	△27.3	148	02
通期	299,000	1.0	30,500	△26.8	38,500	△24.9	25,500	△22.0	314	56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	90,139,653株	26年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	9,067,525株	26年3月期	9,065,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	81,072,790株	26年3月期1Q	81,092,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当四半期のOTC医薬品市場は、例年に比べ花粉飛散の収束時期が遅かったことにより鼻炎治療剤が堅調でしたが、ほとんどのカテゴリーが消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動などで落ち込み、総体的には低調に推移しました。

医薬事業につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなかで、承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策が浸透しつつあり、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、「健康で美しく老いたい」という生活者のニーズに対応すべく、製品開発面ではメタボリックシンドロームなど生活者の健康意識の高まりに対応した領域を開拓し、生活者のニーズに沿った製品の開発を進めています。また、販売面ではマーケティングと営業活動の連動性を高め、需要を創造する活動を強化すると共に、通信販売等新チャネルの拡充による生活者との直接のコミュニケーションにも注力しています。海外市場におきましては、アジアを中心にOTC医薬品事業とドリンク剤事業を積極的に展開しております。

医薬事業部門でも、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、683億7千1百万円余（前年同四半期比+1億9千2百万円余、0.3%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	412億円	(△ 13億円)	3.0%減)
内訳			
国内	340億円	(△ 16億円)	4.6%減)
海外	66 "	(+ 3 "	5.6%増)
その他	6 "	(+ 0 "	3.3%増)
医薬事業	272億円	(+ 15億円)	5.6%増)
内訳			
医療用医薬品	262億円	(+ 8億円)	3.0%増)
中間製品等	9 "	(+ 6 "	203.9%増)
工業所有権等使用料収益	1 "	(+ 1 "	323.8%増)

主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

## &lt;セルフメディケーション事業&gt;

当第1四半期連結累計期間売上高は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動により国内で前年を下回り、事業全体では412億円（△13億円、3.0%減）となりました。

ドリンク剤の「リポビタミンシリーズ」は、主力の「リポビタミンD」が前年を下回り（4.3%減）、シリーズ全体では163億円（3.3%減）となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、鼻炎治療剤が堅調であったものの、主力の総合感冒薬が前年比マイナスとなり、シリーズ全体では41億円（2.5%減）となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が大きく、主力の「リアップX5」が前年比マイナスとなり、シリーズ全体で30億円（8.1%減）となりました。

その他のブランドでは、特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は10億円(14.7%減)、「胃腸薬シリーズ」は9億円(3.0%減)、解熱鎮痛薬「ナロンシリーズ」は9億円(8.3%減)、便秘薬「コーラックシリーズ」は8億円(10.4%減)と、前年を下回りました。

一方、現在アジアを中心に展開中の海外OTC医薬品事業は40億円(6.2%増)となりました。

#### <医薬事業>

当第1四半期連結累計期間売上高は、272億円(+15億円、5.6%増)となりました。

主な増収品目は、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」59億円(0.1%増)、骨粗鬆症治療剤「エディオール」34億円(18.8%増)、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」8億円(12.9%増)、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」6億円(平成25年8月発売)でした。また、本年5月発売の2型糖尿病治療剤「ルセフィ」は24億円と順調な滑り出しを見せております。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は29億円(18.6%減)、末梢循環改善薬「パルクス」は18億円(13.0%減)と、薬価改定の影響もあり前年比マイナスとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加及び売上原価率の改善により売上総利益が前年比1.4%増加したものの、販売促進費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は86億7百万円余(4.9%減)、経常利益は107億7千4百万円余(6.2%減)、四半期純利益は66億5千8百万円余(10.1%減)となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7億円増加し、7,291億円となりました。現金及び預金が45億円、有価証券が50億円それぞれ減少しましたが、投資有価証券が103億円増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ67億円減少し、1,098億円となりました。未払費用が56億円増加しましたが、未払法人税等が85億円、賞与引当金が27億円それぞれ減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ74億円増加し、6,193億円となりました。四半期純利益67億円、その他有価証券評価差額金37億円が主な増加要因であり、剰余金の配当49億円が主な減少要因でした。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日公表時から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法について期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、計算に用いる割引率を、従業員の平均残存勤務期間に近似した単一年数の債券利回りに基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付に係る資産が3,736百万円、退職給付に係る負債が1,116百万円、利益剰余金が1,733百万円、それぞれ増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	145,320	140,847
受取手形及び売掛金	78,507	74,775
有価証券	14,084	9,037
商品及び製品	17,577	19,884
仕掛品	1,872	1,782
原材料及び貯蔵品	7,671	7,671
繰延税金資産	8,027	6,734
その他	8,424	11,770
貸倒引当金	△439	△435
流動資産合計	281,045	272,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,359	50,472
機械装置及び運搬具(純額)	9,611	9,682
土地	37,740	37,738
建設仮勘定	783	416
その他(純額)	4,085	3,818
有形固定資産合計	103,580	102,129
無形固定資産		
のれん	22,990	22,454
販売権	7,185	6,874
商標権	16,115	15,645
ソフトウェア	1,854	1,718
その他	631	624
無形固定資産合計	48,777	47,317
投資その他の資産		
投資有価証券	226,982	237,276
関係会社株式	51,778	52,045
関係会社出資金	1,174	—
長期前払費用	858	807
退職給付に係る資産	2,586	6,495
繰延税金資産	7,667	7,195
その他	4,216	4,027
貸倒引当金	△226	△224
投資その他の資産合計	295,037	307,625
固定資産合計	447,396	457,071
資産合計	728,442	729,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,859	26,092
未払金	14,783	14,866
未払法人税等	11,517	3,044
未払費用	10,411	16,045
返品調整引当金	518	471
賞与引当金	4,630	1,974
その他	6,330	2,306
流動負債合計	76,050	64,801
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,640	1,407
退職給付に係る負債	19,584	20,305
繰延税金負債	14,389	16,226
その他	4,844	7,087
固定負債合計	40,458	45,026
負債合計	116,509	109,828
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,269	15,269
利益剰余金	591,575	595,099
自己株式	△57,548	△57,566
株主資本合計	579,296	582,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,639	26,310
為替換算調整勘定	896	209
退職給付に係る調整累計額	△2,750	△2,397
その他の包括利益累計額合計	20,785	24,122
新株予約権	180	180
少数株主持分	11,670	12,205
純資産合計	611,933	619,311
負債純資産合計	728,442	729,139



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	68,178	68,371
売上原価	25,520	25,116
売上総利益	42,658	43,254
返品調整引当金戻入額	514	512
返品調整引当金繰入額	541	465
差引売上総利益	42,630	43,301
販売費及び一般管理費	33,582	34,693
営業利益	9,047	8,607
営業外収益		
受取利息	1,302	1,317
受取配当金	583	651
持分法による投資利益	348	16
その他	230	229
営業外収益合計	2,464	2,215
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	2	21
支払手数料	21	20
その他	4	6
営業外費用合計	28	48
経常利益	11,484	10,774
特別利益		
固定資産売却益	46	1
特別利益合計	46	1
特別損失		
固定資産処分損	13	47
関係会社清算損	—	39
特別損失合計	13	87
税金等調整前四半期純利益	11,518	10,688
法人税等	3,797	3,510
少数株主損益調整前四半期純利益	7,720	7,177
少数株主利益	310	519
四半期純利益	7,410	6,658

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,720	7,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,828	3,458
為替換算調整勘定	3,573	△686
退職給付に係る調整額	—	383
持分法適用会社に対する持分相当額	36	203
その他の包括利益合計	5,439	3,359
四半期包括利益	13,159	10,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,849	9,996
少数株主に係る四半期包括利益	310	541

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,446	25,732	68,178	—	68,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	42,446	25,732	68,178	—	68,178
セグメント利益(注2)	8,353	981	9,335	△287	9,047

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,188	27,183	68,371	—	68,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,188	27,183	68,371	—	68,371
セグメント利益(注2)	7,144	1,716	8,860	△252	8,607

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、主として当社(純粋持株会社)で占められております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。